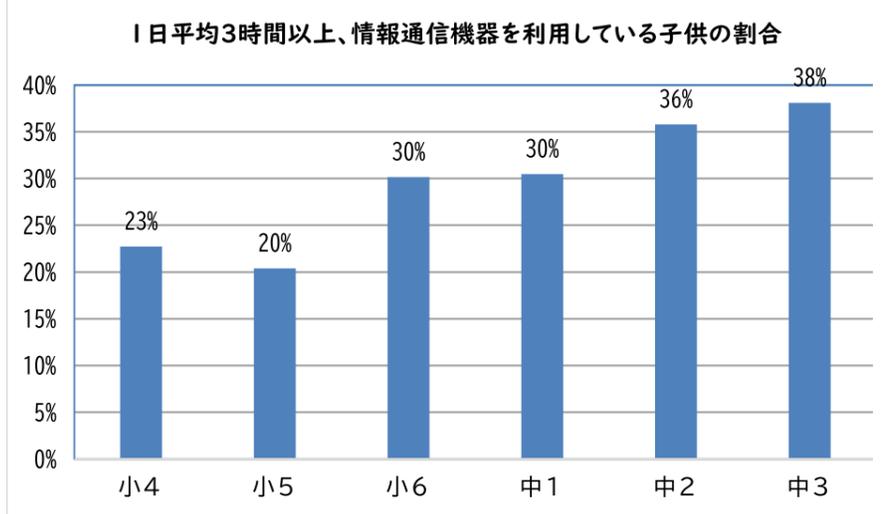


～ネット(SNS等)に潜む危険～ 子供を守れるのは身近な大人です！

令和5年4月
魚津市教育委員会
魚津市小・中学校生徒指導協議会

ネット使用の実態について

ネットは今や子供たちの日常生活に広く入り込んでいます。
魚津市小・中学校生徒指導協議会が昨年度に行った、小学4年生から中学3年生までを対象としたアンケートからは、**学年が上がるにつれて、インターネットを1日3時間以上使用している子供が増えている**ことが分かります。



インターネットの長時間の使用は「**ネット依存**」を引き起こし、自分の力では回復できない状態になることもあります。

セルフチェックをしてみましょう

- スマホが使えない時に、イライラ、ソワソワしてしまう。
- スマホの時間を減らそうとしたが、うまくいかなかったことがある。
- 友達に会うより、スマホを選んだことがある。
- スマホを使いすぎて、睡眠不足になってしまったことがある。
- いやな気持ちをまぎらわすためにスマホを使ってしまうことがある。
- スマホがきっかけで家族や友達とけんかになったことがある。
- スマホが原因で成績が落ちてしまった。

4つ以上☑がある場合は、親子で、よりよい使い方をいっしょに考えましょう。

インターネット(SNS等)の使用に関して様々なトラブルが起きています！

【市内での事例】

ネット被害、SNS等によるトラブル

- ・インターネットで知り合った人に会い、付きまとわれそうになった。
- ・スマートフォン等のカメラを使って盗撮され、画像を拡散された。
- ・一緒にスマホで撮った写真を加工され、からかわれた。
- ・自分が写った写真を無断で掲載、拡散された。
- ・ゲームで課金しているうちに高額になっていた。
- ・誹謗中傷を書き込まれた。



ネット依存の恐れ

- ・インターネットをしないと落ち着かず、集中力が低下し、成績が下がった。
- ・夜中までゲームに熱中し、睡眠不足から朝起きられなくなった。



その結果…

自分の軽率な行為が友達のを傷つけることになり、それがいじめにつながる恐れがあります。

ネットから離れられず、生活のリズムや体調を崩してしまい、学校生活にまで影響を及ぼす恐れがあります。

ならないためには…

人権を侵害する行為は絶対に許されません！

一度ネット上に流出した情報は簡単に消すことはできません。匿名の情報でも、記録をたどって名前や住所が特定され、責任を問われます。

最低限のルールを家庭で作りましょう！

1日の生活リズムを崩すことは、脳や体の機能が正常に動かないことにつながります。崩れたリズムを戻すには、相当の時間がかかります。

子供に携帯・スマホは本当に必要ですか？

- ・携帯やスマホを持たせる場合は「何に利用するのか？」「なぜ必要なのか？」**目的や理由**を親子で確認しましょう。
- ・使い始める前に、利用についての**ルール**を決めましょう。

◆◆◆家庭でのルールの例◆◆◆

- 時間 スマホや携帯電話は()時以降は使わず、
- 置き場所 ()に置きます。
- きまり ① フィルタリングは変更・解除しません。
② 困ったらすぐに家族に相談します。
③ 個人情報は書き込みません。
④ 人の嫌がることは書き込みません。(相手の立場に立って考えます。)
⑤ 相手の断りもなく、写真や動画を送信しません。
⑥ 食事中や会話中は使いません。
- 守れなかったとき ルールを守れなかったら()日間使用しません。

※ルールは大人が一方向的に決めるのではなく、**子供と一緒に**つくる**ことが大切です。**

いたずらではすまされない！

子供が加害者になってしまうネット犯罪

- 学校の爆破予告を掲示板に書き込んだ→**威力業務妨害**
- 人の画像を勝手にSNSにアップした→**肖像権の侵害**
- 他人の悪口を掲示板に書き込んだ→**侮辱罪**
- 他人のID・パスワードを使って勝手にアクセスした→**不正アクセス禁止法違反**

タブレットのルールを確認してください

スマホを持っていなくても学校から貸与されたタブレットで犯罪行為をしてしまう可能性がないわけではありません。学校での指導を逸脱した使用であれば、基本的に本人や保護者の責任となります。親子でルールを確認してください。